

千葉県教育委員会 (所在地：千葉県千葉市)

事業名 学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業

研究テーマ 学校から社会への移行期 ○ 生涯の各ライフステージ ○ **主な対象** 知的障害

事業の趣旨・目的

学校卒業後の障害者が社会で自立して生きるために必要となる力を生涯にわたり維持・開発・伸長するため、学校から社会への移行期、生涯の各ライフステージにおける効果的な学習に係る具体的な学習プログラムや実施体制等に関する実証的な研究を行う。

事業実施体制・連携先

- ・「コンソーシアム」：年4回の会議を通して、事業全体への指導助言、生涯学習講座への支援体制の構築を図る。
- ・「コンソーシアム委員の構成」：大学教授（コーディネーター）、社会福祉協議会、障害福祉団体、一般企業、親の会、公民館職員、特別支援学校、障害者、行政（障害者福祉・特別支援教育）等

学習プログラムの内容

①「特別支援学校における取組」

- ・「学ぶ」プロジェクト…ライフプランや社会生活に関する講座
- ・「楽しむ」プロジェクト…リフレッシュや生活を豊かにする講座
- ・「つながる」プロジェクト…生涯学習に関する相談支援や情報提供
- ・開かれた学校づくり委員会…生涯学習支援の取組について協議

②「生涯学習センター（さわやかちば県民プラザ）における取組」

- ・楽譜が読めなくても誰もが楽しめる体験型の講座を実施。
- ・講座サポーター（ボランティア）が、受講生と共に活動し、楽しさを共有できる講座の実施。
- ・「できる」「褒められる」等の経験を通して得られる達成感や自己肯定感を高めるために、練習成果発表と地域との交流を設定。



特別支援学校の取組
「楽しむ」講座
(リンパコンディショニング)



さわやかちば県民プラザの取組
さわやかおんがく隊
(交流発表会)

研究の成果と課題

1「学習プログラム開発」

- ①「特別支援学校における取組」（＝在学中から生涯学習への関心を高める）
 - ・「学ぶ」「楽しむ」「つながる」の3つのプロジェクトを通して、在校生、卒業生ともに、生涯学習について考えるきっかけをもつことができた。
 - ・持続可能な取組を目指した「生涯学習支援～市川大野モデル～」をまとめたリーフレットを作成し、県内の特別支援学校に配付することができた。
- ②「さわやかちば県民プラザにおける取組」（＝生涯学習関連施設向け）
 - ・誰でも参加でき、達成感を得ることができるテーマを設定することで、受講生の意識が向上した。
 - ・講座サポーターとともに活動することで喜びを共有することができた。
 - ・発表や地域交流により、目的意識や自己肯定感を感得することができた。

2「連携体制の構築」

- ・様々な立場からの意見を取り入れ、より客観的な取組となった。
- ・専門的な知識や人材の提供への協力体制を構築することができた。

3「成果の普及・啓発」

- ・取組映像（DVD）を活用することで、取組の様子や障害者の思いをより具体的に伝えることができた。

その他研究の詳細など

「千葉県ホームページ」コンソーシアム会議の資料・議事録を掲載
<https://www.pref.chiba.lg.jp/kyouiku/shougaku/shingikai/shougaisha/index.html>

